

土地利用型営農技術の実証研究

復興に伴い圃場区画や経営規模が拡大した際に、コスト競争力のある水田農業を展開するため、各種先端技術を組合わせて導入し、高能率・安定多収を実現する低コスト大規模農業を実証。

内容

1. 大型機械を利用した低コスト水田輪作体系の実証

- (1) 大型機械を利用した低コスト稲-麦-大豆水田輪作技術の実証
- (2) 高能率な鉄コーティング水稲湛水直播技術の実証
- (3) 大区画水田における圃場作業支援技術の実証



- 深耕+整地播種体系の高速化技術
- 作目切り替えの迅速化技術
- 乾田直播
- 総合的雑草管理技術

- 鉄コーティング水稲湛水直播技術
- 省力的除草体系

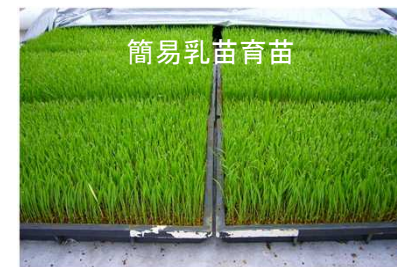
- 地下水位制御システムの導入
- OGPSレベラーを用いた大区画圃場の均平化技術
- OGPSを用いた農業機械の運転支援技術
- 農作業ロボットの活用

内容

2. 中型機械の汎用利用による低コスト水田輪作体系の実証

- (1) 津波被災水田の早期機能再生技術の実証
- (2) 中型機械の汎用利用による3年4作水田輪作体系の実証

- 広畝成形播種と農業機械の汎用利用による機械コストの削減
- 簡易乳苗育苗技術
- 疎植栽培と簡易乳苗育苗の組合せによる省力的移植体系
- 環境保全型の防除技術



3. 大規模水田農業を支援するICTを活用した栽培管理及び経営管理の支援技術の実証

- (1) 低コスト安定生産のための栽培管理支援技術の実証
- (2) 大規模水田農業を支援する経営管理支援技術の実証

- FARMsを活用した機械作業情報のモニタリング及び情報管理技術
- 地力情報、生育情報に基づく適正施肥技術
- メッシュ気象情報、発育予測モデル、フィールドサーバー取得情報に基づいた生育管理支援技術
- 農業オープンクラウドプラットフォームの標準化

